

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(学校教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	情報教育整備推進事業(小学校)	事業番号	11570

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-6	教育環境の整備
	施策目標	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

2 事務事業の目的

目的	次代を担う子どもたちが情報化社会に適応する能力を身につけることを目的とし、市内小学校の教育の情報化を推進するための環境を整備する。
成果	児童の情報活用能力の育成と情報モラルの定着やICTを活用した授業を展開することによる児童の学力向上に資する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
		27	ソフトウェアアップデート、ウイルス対策ソフト更新 教育情報化推進校の指定					
	28	ソフトウェアアップデート、ウイルス対策ソフト更新 根室市教育情報化推進計画の策定						
	29	全小学校情報教育用PC更新						
	30	無線LAN環境整備、ウイルス対策ソフト更新						
	31	ソフトウェアアップデート、ウイルス対策ソフト更新						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		2,241	1,270	8,016	35,430	35,430	82,387
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	2,241	1,270	8,016	35,430	35,430	82,387
	人員(人工)		0.17	0.25	0.25	0.25	0.25	
	職員費(人員×8,081千円)		1,374	2,020	2,020	2,020	2,020	9,454
	総事業費		3,615	3,290	10,036	37,450	37,450	91,841
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	児童一人当たりの端末機器	0.5台	1台	1台
	電子黒板を整備している小学校	0校	8校	8校

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	児童の情報活用能力の育成と情報モラルの定着やICTを利活用した授業を展開することによる児童の学力が向上する。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 情報通信技術の発展に伴い、子どもたちの情報活用能力の向上は必要不可欠である。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 学習指導要領に基づき、全市統一的に推進するため市が実施すべき事業である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 情報教育用PC及び無線LAN環境を計画的に整備していかなければならない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の可能性はある 推進計画策定に当たっては、適正配置計画や財政状況に応じて検討する必要がある。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地はある 教職員のICT活用力により大きく左右されるため、研修会やモデル校公開授業などを取り入れていく。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 情報通信技術の発展に伴い、子どもたちの情報活用能力の向上は必要不可欠である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、情報化推進計画の策定に当たっては、関係部署とも協議しながら作業を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 根室市ICT教育の方針を定めるために、教育情報化推進計画策定委員会を設置し、教職員及び市情報管理課と連携していく。推進計画は平成28年度中に策定することとし、教育情報化の10ヵ年計画を示す。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(学校教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	情報教育整備推進事業(中学校)	事業番号	11571

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-6	教育環境の整備
	施策目標	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

2 事務事業の目的

目的	次代を担う子どもたちが情報化社会に適応する能力を身につけることを目的とし、市内中学校の教育の情報化を推進するための環境を整備する。
成果	生徒の情報活用能力の育成と情報モラルの定着やICTを活用した授業を展開することによる生徒の学力向上に資する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
		27	情報機器リース(H22、H24契約) ソフトウェアアップデート、ウイルス対策ソフト更新					
	28	情報機器リース(H24契約) ソフトウェアアップデート、ウイルス対策ソフト更新 根室市教育情報化推進計画の策定						
	29	情報機器リース(H24契約) ソフトウェアアップデート、ウイルス対策ソフト更新						
	30	全中学校情報教育用PC更新						
	31	無線LAN環境整備、ウイルス対策ソフト更新						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		15,712	8,984	4,713	21,493	21,493	72,395
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		15,712	8,984	4,713	21,493	21,493	72,395
	人員(人工)		0.17	0.25	0.25	0.25	0.25	
	職員費(人員×8,081千円)		1,374	2,020	2,020	2,020	2,020	9,454
総事業費		17,086	11,004	6,733	23,513	23,513	81,849	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	生徒一人当たりの端末機器	1台	1台	1台
	電子黒板を整備している中学校	0校	7校	7校

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	生徒の情報活用能力の育成と情報モラルの定着やICTを利活用した授業を展開することによる生徒の学力が向上する。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 情報通信技術の発展に伴い、子どもたちの情報活用能力の向上は必要不可欠である。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 学習指導要領に基づき、全市統一的に推進するため市が実施すべき事業である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 情報教育用PC及び無線LAN環境を計画的に整備していかなければならない。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の可能性はある 推進計画策定に当たっては、適正配置計画や財政状況に応じて検討する必要がある。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地はある 教職員のICT活用力により大きく左右されるため、研修会やモデル校公開授業などを取り入れていく。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 情報通信技術の発展に伴い、子どもたちの情報活用能力の向上は必要不可欠である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、情報化推進計画の策定に当たっては、関係部署とも協議しながら作業を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 根室市ICT教育の方針を定めるために、教育情報化推進計画策定委員会を設置し、教職員及び市情報管理課と連携していく。推進計画は平成28年度中に策定することとし、教育情報化の10ヵ年計画を示す。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	厚床小学校校舎改築事業	事業番号	12437(繰越)

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-6	教育環境の整備
	施策目標	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

2 事務事業の目的

目的	老朽化し使用に耐えられなくなった学校施設を改築して、児童の安全・安心な学習環境を確保するため。
成果	児童が一日の大半を過ごす学校施設を保全することは、児童の安全・安心な学習環境の確保につながる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27	平成26年度に新校舎を建設したことから、使用しなくなった旧校舎を解体する。					
	28	国道出入口から小学校校舎玄関前までの歩行道、保護者用駐車場等、校舎前庭の整備を行う。					
	29						
	30						
	31						

		(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
事業費と内訳	事業費		65,374	34,000				99,374
	内訳	国庫支出金		22,220				22,220
		道支出金						
		地方債			25,500			25,500
		その他						
		一般財源		43,154	8,500			51,654
	人員(人工)		0.022	0.022				
職員費(人員×8,081千円)		178	178			356		
総事業費			65,552	34,178			99,730	

維持管理	管理主体	根室市教育委員会					
	運営方法	直営					
	維持管理費	施設維持費					
		概算人件費					
合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	駐車場面積、校舎前庭面積	2,343㎡	—	—

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	平成26年度に新校舎を建設し、既に児童の安全性は確保されているが、併設された中学校の旧屋内運動場を解体し前庭や駐車場を整備していないため、児童は中学校入り口の使用を余儀なくされている。国道入口から小学校玄関までを舗装化し歩車道をすみ分けることで、スクールバスとの接触を避けることができ、登下校時の児童の安全性が保たれる。また、中学校敷地への小学校建設にともない矮小化した敷地を整備し駐車場を設けることで、保護者の利便性が向上する。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 老朽化が著しく、PTAや地域から熱望されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 施設管理者としての責務であるため、市が実施主体となる。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 児童の安全確保のため緊急性が高い。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 施設管理者としての責務であるため、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 小学校に通う全児童を対象としている。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 一日の大半を過ごす学校施設を保全・改修することは、子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されるため、有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 総合計画事業として計画どおり実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 計画どおり着手し、平成28年度中の完了を目指す。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	厚床中学校屋内運動場改築事業	事業番号	12438(繰越)

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-6	教育環境の整備
	施策目標	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

2 事務事業の目的

目的	老朽化し使用に耐えられなくなった学校施設を改築して、生徒の安全・安心な学習環境を確保するため。
成果	生徒が一日の大半を過ごす学校施設を保全することは、生徒の安全・安心な学習環境の確保につながる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	新たな屋内運動場を建設する。						
	28	平成27年度に新屋内運動場を建設したことから、使用しなくなった旧屋内運動場を解体する。						
	29							
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		522,027	22,471				544,498
	内訳	国庫支出金	174,575	11,290				185,865
		道支出金						
		地方債	326,000					326,000
		その他						
		一般財源	21,452	11,181				32,633
	人員(人工)		0.022	0.022				
	職員費(人員×8,081千円)		178	178				356
総事業費		522,205	22,649				544,854	
維持管理	管理主体		根室市教育委員会					
	運営方法		直営					
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	屋内運動場面積	1,217㎡	—	—

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	老朽化した学校施設を改修することで、生徒の安全・安心な学習環境が確保される。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 老朽化が著しく、PTAや地域から熱望されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 施設管理者としての責務であるため、市が実施主体となる。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 生徒の安全確保のため緊急性が高い。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 施設管理者としての責務であるため、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 小中学校に通う全児童・生徒を対象としている。(小学校兼用利用)
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 一日の大半を過ごす学校施設を保全・改修することは、子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されるため、有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【計画どおり実施】 総合計画事業として計画どおり実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 計画どおり着手し、平成28年度中の完了を目指す。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	落石中学校グラウンド改修事業	事業番号	12526

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-6	教育環境の整備
	施策目標	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

2 事務事業の目的

目的	。排水性の悪いグラウンドを整備して、生徒の安全・安心な学習環境を確保するため。
成果	同校のグラウンドは排水性が悪く、まとまった降雨があった場合は2～3日程度使用不能となることから、排水改善を図り生徒の学習環境を確保する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	改修計画を策定するため、土壌調査等設計委託を行う。						
	28	平成27年度の調査に基づき排水機能を向上するため、グラウンド改修工事を行う。						
	29							
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		3,586	36,619				40,205
	内訳	国庫支出金		12,019				12,019
		道支出金						
		地方債	3,500	23,800				27,300
		その他						
		一般財源	86	800				886
	人員(人工)		0.022	0.022				
	職員費(人員×8,081千円)		178	178				356
総事業費		3,764	36,797				40,561	
維持管理	管理主体		根室市教育委員会					
	運営方法		直営					
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	グラウンド整備面積	10,500㎡	—	—

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	グラウンドを改修し排水性を向上することで、雨天後の体育授業への影響を抑えることができる。また、授業以外にも部活動や地域行事などグラウンド活動日数を確保することで、生徒の健全な運動環境の確保による体力の向上、地域との交流による社会性の向上が図られる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 排水性が悪く体育の授業や部活動に支障がでているため、PTAや地域から熱望されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 施設管理者としての責務であるため、市が実施主体となる。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 授業計画の変更を余儀なくされるため、緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 施設管理者としての責務であるため、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 中学校に通う全生徒を対象としている。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 一日の大半を過ごす学校施設を保全・改修することは、子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されるため、有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 総合計画事業として計画どおり実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 事業の実施には多額の費用が必要となり財源確保が必須となるが、近年、国の予算の削減と併せ全国的に学校施設の耐震化、統廃合等により国庫補助金の需要が多く、採択順位の低い事業は採択が見送られる状況にある。また、平成28年度事業として国庫補助申請を行ったが、採択を見送られたため、実施時期・実施方法等の再検討が必要。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(総務担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	歯舞中学校校舎等耐震改修事業	事業番号	12549

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-6	教育環境の整備
	施策目標	子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されたまち	

2 事務事業の目的

目的	耐震性を確保し、併せて老朽化した施設を改修することで、生徒の安全・安心な学習環境を確保するため。
成果	同校の校舎・屋内運動場はIs値0.6未満であり、国土交通省で示している「倒壊、又は崩壊する危険性がある」建物であることから、耐震改修工事を実施し生徒の安全確保を図る。 併せて、老朽化した校舎・屋内運動場を改修し、雨漏りの改善や機密性の向上により校舎内を温暖にし、生徒の安全・安心な学習環境を確保する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	改修計画を策定するため、コンクリート中性化検査・老朽箇所の把握等現地調査、設計委託を行う。						
	28	平成27年度の調査に基づき耐震改修工事、老朽化対策工事を行う。						
	29							
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		9,072	335,026				344,098
	内訳	国庫支出金		188,414				188,414
		道支出金						
		地方債	9,000	134,700				143,700
		その他						
	一般財源		72	11,912				11,984
	人員(人工)		0.022	0.022				
職員費(人員×8,081千円)		178	178				356	
総事業費		9,250	335,204				344,454	
維持管理	管理主体		根室市教育委員会					
	運営方法		直営					
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	小中学校施設の耐震化率	82.9%	88.6%	88.6%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	耐震性を確保し、併せて老朽化した施設を改修することで、生徒の安全・安心な学習環境を確保することができる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある □ニーズはある □ニーズはあまりない</p> <p>耐震性が低く地震発生時に倒壊の危険性があることから、PTAや地域から熱望されている。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり □市以外で実施可能である</p> <p>施設管理者としての責務であるため、市が実施主体となる。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い □緊急性はある □緊急性はない</p> <p>生徒の身体の安全性を確保するため、緊急性が高い。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である □現状として妥当である □検討の可能性はある</p> <p>施設管理者としての責務であるため、適切である。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い □概ね公平である □改善の余地はある</p> <p>中学校に通う全生徒を対象としている。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない</p> <p>一日の大半を過ごす学校施設を保全・改修することは、子どもたちが安心して学ぶことができる良好な教育環境が確保されるため、有効性は高い。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】 重点プロジェクト事業につき速やかに実施されたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する</p> <p>計画どおり着手し、平成28年度中の完了を目指す。</p>

作成年度

平成27年度